

No.125

緑の子

発行
編集

鎌ケ谷市青少年センター

〒273-0101
鎌ケ谷市富岡1-1-1
(三橋記念館3階)
☎047-445-4393

青少年健全育成施策について

家庭・学校・地域（三位一体）

鎌ケ谷市教育委員会は市全体の現状把握と今後の青少年健全育成を検討する目的で、市内小中学校の抽出児童生徒と保護者に対し、青少年の意識に関するアンケート調査を実施しました。その調査を基に生涯学習審議会に青少年健全育成施策について諮問し、先般審議会の答申（提言）が出され、市のホームページで公表しました。

※青少年を取り巻く現状と課題

- ①道徳心の欠如、モラルの低下
- ②家庭及び地域における希薄な対人関係
- ③情報メディアの発展に伴う影響
- ④基本的生活習慣の乱れ
- ⑤自然体験等の直接体験の少なさ

※青少年健全育成施策への提言として

- ・家庭教育の支援の充実
- ・家庭・地域・学校等の連携による支援
- ・青少年の指導者育成の充実
- ・子どもの体験活動の充実
- ・情報化社会への対応
- ・非行問題への対応

そして提言の最後に家庭、地域、学校に行政が連携し協力して対応する事が大事で、更に国や県とも連携し青少年健全育成施策を推進するよう求めています。

アンケートの中で

「家庭は楽しいですか」の質問に80%の子どもが楽しいと答え、そ

の理由を家庭の会話が楽しいと70%の子が答えています。逆に全然楽しくない。あまり楽しくないが合わせて6.8%あり、「家庭」が必ずしも子どもにとってやすらぎの場になっていないとはいえず、メールの回数も圧倒的に多くなっています。その理由を保護者は「親が口うるさいと思うから」が77%。以下家族関係、子どもへの声を聞く姿勢が少ない等と続きます。

「学校は楽しいですか」の質問には約80%の子どもが楽しいと答え、その理由を友達・部活・先生・家族との人間関係と90%以上があげています。逆に、楽しくない理由は、勉強や成績等の学業と自分の性格が上位を占め、学業に自信がない。あまり自信がないが36%。自信ありは全体の1/4です。また、学校に行きたくないと思うことがよくある。たまにあると答えた子どもが60%強います。理由は「何となく」が全体の半分、上位は苦手教科の授業。友達関係。朝、起きられない。授業がわからない等となっています。

「家庭」は一家団らん。家族の交流による温もりのある人間関係づくりが最も重要であり、子どもは家族との語らいや愛情に支えられ、人間としての優しさの基礎を培うものといえます。

「学校」は子ども達の実態を見極め細

かに分析し、学校を楽しくするため自己存在感や自己決定を大切にしたい分かり易い授業の展開。学校生活全般に生徒指導の機能を生かし、子ども達が自らの確かな人間関係づくりや満足感や達成感、存在感等で自信を持つことができる場を設定し、先を見据えた積極的な生徒指導を展開することが大切です。このことが子ども達の向上心を高める事となり、非行の後追い指導を終息させることにも繋がります。

「地域」で生産の喜びと勤労の大変さや尊さ、食への感謝の気持ち育てることを目的とし、大人達が小学生を対象に稲の種まき、田植え、稲刈りの自然体験学習を計画推進し、成果を上げていく所もあります。子どもは家庭で愛を学び、学校で学業、集団生活等の基礎基本を学び、そして地域の大人達から地域行事等を通してルールやマナー等の社会性を学びます。家庭と学校が信頼関係を更に深め、学校は地域社会との交流を一層広めて、行政を取り込んでの共通理解、共通実践のもと、三位一体の青少年健全育成を目指すことが肝要です。

（文責 中園）



地域の大人と稲刈りする子ども達



補連協視察研修 平成23年11月9日 茨城農芸学院

青少年補導員連絡協議会活動(10月～3月)

- 10/13 千葉県青少年補導員連絡協議会研修会
～14 (銚子市)
28 県下一斉列車補導
(東武鉄道・新京成電鉄・北総鉄道)
- 11/ 9 第2回補導員研修会(視察)
(茨城農芸学院・筑波技能訓練所)
17 第2回東葛ブロック会議(野田市)
22 船橋市との隣接地域補導関係者連絡会
(船橋市)
- 12/16 第2回市内一斉補導
1/17 松戸市との隣接地域補導関係者連絡会
(鎌ヶ谷市)
2/17 第3回補導員研修会(講演会)
3/19 第3回市内一斉補導
(警察関係機関と合同)

※毎週月、水、金曜日はセンター職員と街頭補導
鎌・二・三・四・五中学校区の班活動
(学区内巡回補導)

第2回補導員研修会

平成23年11月9日(水) 茨城農芸学院筑波
技能訓練所を視察・研修してきました。

鎌中学区 秋 元 庸 子

緑豊かな茨城農芸学院を見学致しました。
二羽のひなどりを育み飛び立つまで教育する
姿を示すデザインの序舎。更生した青少年を
一市民として迎え入れる気持ちを持つことの
大切さを覚えました。親鳥の気持ちを保てる
ように努めたいと思いました。

三中学区 佐々木 みち子

法務省の施設で、職業資格の取得指導・体
験学習・心の教育に重点を置き、社会に適応
できるように力を注いでいるとの事です。職
業指導では、溶接科・3級造園技能士・大型
移動式クレーン運転士・土木建築科・農耕科
などがあり、充実していると思えました。社
会適応訓練や奉仕活動もあり、退院のための
準備も整っていると感じました。

五中学区 宗 川 奈津子

泥のついた地下足袋や溶接道具・フォーク
リフトの訓練場を目のあたりにすると、子ど
も達の姿が目に見えます。様々な事情から
本人たちが望んだわけでもない中で「社会不
適応」という状況になってしまった子ども達
今まで見つけられなかったり、見つけずらか
った「自分の居場所」を見つけられる様にと
願いました。廊下
の壁に掲示されて
いた数枚の絵と文
章には、母や家族
への思いが書かれ
ていた様に思います。
今、私達が出来
る事・何をするか
を見つめ直してみ
たいと思いました。



第2回千葉県青少年補導(委)員連絡協議会 東葛ブロック会議

平成23年11月17日(木) 野田市中央公民館

東葛地区6市(松戸・流山・我孫子・野田・
柏・鎌ヶ谷)31名。鎌ヶ谷からは7名が参加
して、補導状況等の情報交換をしました。

野田警察署の生活安全課長平野英之氏が「野
田警察署内における青少年の現状」と題して
暴走族・ひったくり・ネット犯罪・合法ドラ
ッグについてお話し下さいました。

船橋市との隣接地域補導関係者連絡会

平成23年11月22日(木) 船橋市青少年セン
ターで行いました。

鎌ヶ谷市10名、船橋市19名が、3コースに
分かれ、船橋駅周辺の大型店舗を合同補導し
ました。最近の補導・活動状況について報告
後「万引について」というテーマで情報交換
をしました。

松戸市との隣接地域補導関係者連絡会

平成24年1月17日(火) 鎌ヶ谷市総合福祉
保健センターで行いました。

補導状況報告後、鎌ヶ谷市8名、松戸市6名
が2班に分かれ、新鎌ヶ谷駅周辺と大型店舗
内を合同補導しました。

第3回補導員研修会

平成24年2月17日(金) 中央公民館3階
社会教育指導員 石井惟四氏より「市内小・
中学生の現状について」と題して講演があり
ました。

鎌ヶ谷市教育委員会のアンケート調査のも
とに、朝食・就寝時刻・学習塾・携帯電話の
保有等グループディスカッションをしながら
子ども達の実態を再確認することが出来まし
た。

◆子ども安全メール(10月~2月)

配信件数 16件

不審者・変質者 12件 安全注意 4件

~子ども安全メール登録のご案内~

(1) 下記のアドレスへ空メールを送ります。

仮登録用アドレス kama.kodomo@mpme.jp

※QRコード対応の携帯電話はこちらから→
(条件によっては、正確に読み込めない場合があります。)



(2) 本登録案内のメールが届くので、メールに記載されたURL上で必要事項を入力します。

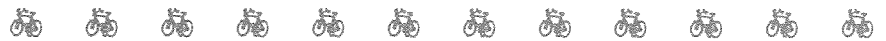
(3) 「登録完了」のメールが届いたら完了です。

※登録者数 (2月末) 7,318件



第四中学校マナーアップ隊

中学校自転車マナーアップ隊
鎌ヶ谷警察署・鎌ヶ谷市教育委員会主催で
自転車通学生徒の交通事故防止についての意識の向上
・自転車に乗る際のマナー向上についての注意喚起
・自転車の安全についての知識や注意点等の学習
のために、登下校時間に学校と警察と協力をして「声かけ活動」を行いました。
※自転車マナーアップ隊活動校(第三・四・五中学校)



◆街頭補導 (10月~2月)

	小学生	中学生	高校生	有職少年	無職少年	合計
自転車二人乗り		4	41	1		46
自転車無灯火	5		1	1		7
危険箇所出入り・遊び						0
たむろ		4				4
喫煙		5	3	3	1	12
怠学		17	1	1		19
その他	5	6	5			16
合計	10	36	51	6	1	104

◆補導実施状況(10月~2月)

補導別	補導回数
計画補導	54
夜間補導	2
随時補導	57
学校行事特別補導	4
市内一斉補導	1
列車補導	1
特別補導	1
隣接補導	2
合計	122

※青少年センターの補導活動とは別に、毎月各中学校区単位(班)で独自に青少年補導員の方々が、パトロールを実施しています。

◆少年相談 (10月~2月)

相談件数 44件

非行	12件	不登校	9件
交友関係	7件	養育	3件
進学・進路	10件	学業	1件
その他	2件		

(家庭内暴力・自傷行為)

- 相談に関する秘密は守られます。
相談日 月~金 9時~16時
- 来所による相談も受付けています。
- 青少年センター
住所 鎌ヶ谷市富岡1-1-1
三橋記念館3F
電話 445-4307

子育て上手は聴き上手
中央公民館家庭教育セミナー「親力アップ」
(講師「親業インストラクター」堀川佳子さん)の講演から

子どもの話の聞き方・話し方のポイント
子どもの悩みを聞くときは、親の都合で自分の聞きたいことだけを聞くのではなく、子どもが「話してよかった。親は話を聞いてくれる。」という気持ちになるよう、子どもの本心を引き出してあげるように聴くことが大切です。

思いを伝えるときは、「あなたはこうあるべき」という、子どもに指図する「あなたメッセージ」ではなく、「こうしてもらおうと私の気持ちもこうなって助かる」というように、「私メッセージ」を大切にしたい方をすると気持ちよく伝わります。上から目線で何かを言われると、大人でも素直になれないことがあります。子どもでもプライドを傷つけられることがあります。



平成23年度 子ども防犯マップ (10月～2月)

子どもたちが安心して暮らせるまちに・・・

ご家庭でも話し合ってみましょう。

- 子どもだけで出かけるときは時間と場所を家族に知らせていますか？
- 人気のない道、夜道の一人歩きはしないようにしましょう。
- よく使う道の「子ども110番の家」を確認しておきましょう。
- 万が一、不審者に出会ってしまったときの対応を日頃から話し合っておきましょう。



「子ども110番の家」設置状況	
市内全体	1,118軒
鎌ヶ谷小学校区	163軒
東部小学校区	82軒
道野辺小学校区	93軒
西部小学校区	177軒
北部小学校区	122軒
中部小学校区	94軒
南部小学校区	98軒
初富小学校区	175軒
五本松小学校区	114軒

行為別	件数
●…露出 痴漢 変質行為	10
○…声かけ	6
◎…公共施設への侵入 器物損壊	5
◆…たむろ 喫煙 不良行為	4
▲…暴力 恐喝	3
△…不審者	3
※…不審電話	4